

充たし、或は之を選擧干渉の手段に供して其の治績治安に對しては概ね無關心なるのみならず、甚だしきに至つては植民地の高級官吏特種銀行會社の要部に至るまで悉く黨人を以て之に代へ其利權を占斷して黨費の策源地と化するに汲々とし植民地の經營及び重要な事業並に金融の施設に對しては頗る冷淡なる等横暴の極を盡し、爲めに國家の綱紀を破壊し、社會の風教を紊亂し、以て國家を毒害するの非違醜狀は實に枚擧に遑あらざるなり。

又我邦財政は逐年甚しく膨脹して國力との均衡を失するに拘らず何等見るべき整理の跡なく、加之偶々最近世界財界の變動に際會するや爲政者の錯覺輕舉に依り巨億の金貨は忽ち海外に流出して國庫の窮乏國內金融の硬塞滯を招來し、更らに之を救済するに方り何等事前の準備善後の對策なく漫然として公債濫發の政策を標榜して一時を糊塗するに腐心し、爲めに一旦曙光を認め得たる我財界の前途も忽焉として暗雲低迷の觀を呈して、民心の不安動搖を激成し、國民生活の安定を缺き國內到る處悲鳴怨嗟の聲を聞かざる所なしとす。

今日の窮迫せる我財界を整理せんと欲せば徹底的に行政整理を斷行することを焦眉の急務なるに拘はらず、却て諸種の口實を構え不急の官職官制を設けて濺官狂の歡心を迎へんとするに至つては其暴狀實に驚くの外なしとす。

抑も我邦の官制は歴代の内閣が人の爲めに官を設くるの惡弊を踏襲し來りたる結果、諸官廳は必要以上に膨大し、必然整理の餘地あるに拘はらず之に一大斧鉞を加ふるの英斷に乏しきは勿論更に近年何れの政黨内閣も窮民或は失業救済の美名に匿れて不急の土木事業を起し窮乏せる國庫に益々過重の負擔を課して敢えて意とせざるは黨利黨略上より打算したる一種の民心迎合策に外ならず。況や帝都の中央に巍々として屹立する新議院及び新な

る諸官廳合の如き華奢なる大厦高樓は我が國富民力と對照して大に權衡を失するに拘らず之に巨額の國費を投ずるに吝ならざるに反し、國家の浮沈安危に關する國防に至つては之を不生産的施設として閑却し、反つて軍備の縮少を絶叫し國庫の窮乏を軍備の縮少に依つて補填せむとするの矛盾なる政策を遂行し、之に加ふるに政黨乃至輿論に迎合して自己の野心を充たさんとする過去に於ける一部の軍部當局は彼等政客と氣脈を通じ歩調を揃へて日露戰役以來我先輩が

明治天皇の御偉業を奉承して苦心慘憤辛うじて建設し得たる我陸軍に惜氣もなく大斧鉞を加へて前後三回に亘り約八ヶ師團に相當する兵力を縮少し、尙之に憚たらず國務大臣の榮位に戀々たるの私心に驅使せられて財務當局の理不盡なる要求を一蹴するの勇氣なくして讓歩を是れ事とし裕ならざる軍事豫算は年々削除の厄に會ふも毫も意とせず兵器裝具の準備充實を放任し來りたるが爲め端なくも今回の滿洲及上海事變に遭遇し、我出征軍の兵器裝具の不備缺陷は遺憾なく中外に暴露せらるゝの失態を演じたるが如き、其横暴醜狀は能く筆舌の盡す所にあらざるなり。然るに是等の點に關し何れの政黨も共犯者たるの因縁ありて其非道を疾呼し進んで國民膏血の結晶たる國帑の濫用浪費を追及糾弾するの資格なきが爲、政府の豫算は逐年不權衡に而かも加速度を以て膨大するの一途あるのみなり。

斯く弊害百出、腐敗の極に達せる政界官界に向つて財政行政の緊縮整理を望むは蓋し百年河清を待つと何等撰ぶ所なし。